

福生三中だより

令和6年5月10日発行 No.2
福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
 - 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
 - 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
 - 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒
- 校訓 礼節

「みんなで成長できる学校」

校長 増木 一仁

新年度が始まって1か月。学校全体が落ち着いた雰囲気の中、令和6年度の順調なスタートを切ることができました。あらためてここまでの始業式や朝礼の講話の概要をご紹介します。

始業式「人間力の向上」

学校は人が成長する場である。生徒全員に成長してほしい。人間力を高めてほしい。

人間力とは（注：中学生に分かりやすい言葉にアレンジしてあります。）

「知力」：学力だけでなく、工夫したり、予測したり、考えたり、判断したりする力。

「体力」：仕事をするにも、勉強するにも体力は必要である。

「自己コントロール力」：自分をコントロールする力。

目標に向かって頑張る意欲、忍耐力など。

「コミュニケーション力」：様々な人とコミュニケーションをとることができ、
関係を作ることができる力。

4月15日朝礼「目標を持つことの大切さ」

目標を持つことで、行動や習慣を変える、行動や習慣が変われば結果が変わる、結果が変われば周囲の見る目（評価）が変わる。評価が変わることでよりやる気が出る。好循環が生まれる。 「目標」⇒「行動」⇒「結果」⇒「評価」⇒「やる気」

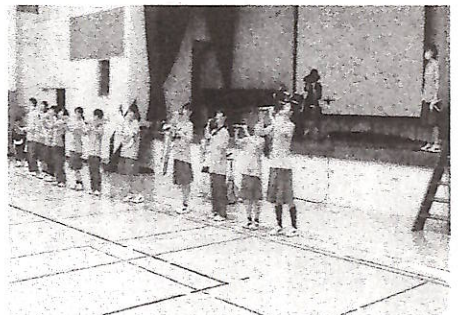
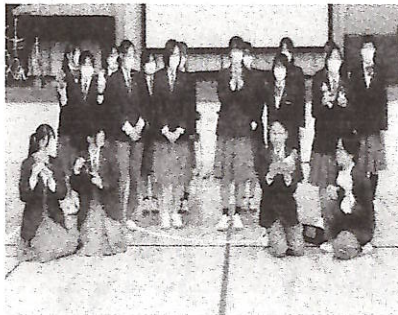
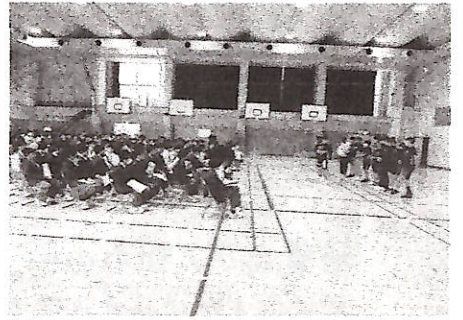
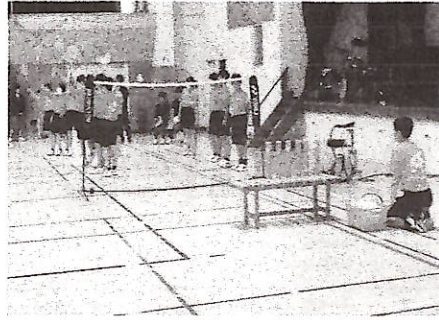
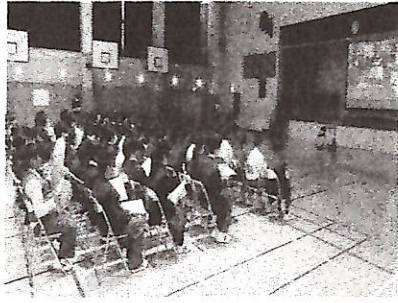
5月7日朝礼「美しい体育祭」

運動が得意な人もいれば苦手な人もいます。みんなが笑顔の体育祭にしてほしい。運動が得意な人は、他の人以上に頑張るとともに、苦手な人に励ましの声をかけて一緒に頑張ってもらいたい。苦手な人は自分のできることを精一杯頑張る。こうした姿、取り組みは見ていて心地よい。見ている人に感動を与える。美しいものである。三中の教育目標の「美しいものを求め、豊かな心をもつ」ということにもつながる。みんなで「美しく、素敵な」体育祭を作っていきましょう。

50年の伝統を大切にしながら、生徒を「まんなか」に、保護者の皆さんや地域の皆さんと一緒に、子供も大人もみんなで成長できる福生第三中学校となるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員会・部活動紹介 4月15日(月)

1年生に向けて2・3年生が委員会・部活動紹介を行いました。1年生は、委員会の説明、部活動の趣向を凝らした紹介を真剣に楽しみながら聞いていました。



オーケストラ鑑賞教室 4月19日(金)

福生市民会館大ホールにおいて、オーケストラ鑑賞教室が行われました。演奏はパシフィックフィルハーモニア東京、指揮米田 覚士さんによる迫力ある演奏で、アンコールの、ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス)では、皆で手拍子をしました。

【曲目】ルスランとリュドミラ序曲(格林カ)、交響曲第5番運命第一楽章(ベートーヴェン)、楽器紹介、トリッチ・トラッチポルカ(シュトラウス)、管弦楽のためのラプソディ(外山雄三)、指揮者体験(3年1組小林万紘さん)、モルダウ(スメタナ)、ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス)

セーフティ教室 4月22日(月)

LINE オフィシャルインストラクターのーノ瀬 史子 先生を講師に迎え、今回は、ZoomでスマートフォンやSNS等を利用するときのルール等について説明してくださいました。生徒には、IPADにワークシートが配布され、真剣に考えていました。

